

「第4回アジア・太平洋水サミット」の開催について（報告）

1. サミット参加者・参加国数

(1)参加者 総 5,488 人 （延べ数）

- ・海外参加者 159 人
- ・会議本体 2,535 人(開会式 706 人、分科会等 1,473 人、閉会式 356 人)
- ・サイドイベント 1,334 人(シンポジウム 634 人、展示会 700 人)
- ・オンライン参加 1,460 人(登録者数)

(2)参加国 総 30 カ国

・下表合計(A+B+C)37 か国のうち、8 カ国は首脳級・閣僚級双方参加のため海外からは 29 カ国参加。日本を含む実質的な参加国は 30 カ国

■ 海外参加国・参加者数

(単位:人)

	対面参加 (A)		オンライン参加(B)		ビデオメッセージ 参加(C)		A+B+C	
	国	人数	国	人数	国	人数	国	人数
首脳級	4	86	2	2	11	11	17	99
閣僚級	10	50	5	5	5	5	20	60
合計	14	136	7	7	16	16	37	159

・対面参加(A)の人数は、随行人数含む一行の人数

〔首脳級参加国 17カ国〕

(A)対面参加国 4カ国

カンボジア（首相）、ツバル（首相）、ラオス（首相）、ウズベキスタン（副首相）

(B)オンライン参加国 2カ国

ブータン（首相）、ベトナム(首相)

(C)ビデオメッセージ参加 11カ国

インドネシア(大統領)、キルギス(大統領)、スリランカ(大統領)、タイ(首相)、
タジキスタン(大統領)、トルクメニスタン(大統領)、ナウル(大統領)、
ニウエ(首相)、フィリピン(大統領)、バングラデシュ(首相)、マーシャル諸島（大統領代行）

〔閣僚級参加国 20カ国〕

(A)対面参加国 10カ国

カンボジア、ラオス、ウズベキスタン、インドネシア、タジキスタン、ニウエ、
フィリピン、インド、ブルネイ、モルディブ

(B)オンライン参加国 5カ国

キルギス、シンガポール、パラオ、フィジー、アルメニア

(C)オンライン参加国 5カ国

アゼルバイジャン、韓国、ソロモン諸島、ネパール、モンゴル

2. 本体会議

(1) 天皇陛下記念講演

開会式のセレモニーの後、天皇陛下による「人の心と水-信仰の中の水に触れる-」と題した記念講演が行われた。

はじめに-熊本の人と水によせて-のなかで、古来より、人と水とが深く関わってきた熊本市に於いて第4回アジア・太平洋水サミットの記念講演を行うことを嬉しく思うと述べられた。さらに、人口74万人のすべての飲料水を良質な地下水で賄っていることは、世界でも稀であり、多くの市民の皆さんが水環境の保全に取り組んでいるからこそであり、熊本市は、まさに清冽な水の都とも言えると評された。

続いて、国内外の山岳信仰や蛇神・龍神の神話などを陛下が自ら撮影された写真を交えながら、水への信仰がアジア太平洋地域に広がっていった過程を解説された。

また、SDGsの進捗状況に触れられ、これらの達成に向けた取り組みなどを通じて「全世界の平和と繁栄に繋がることを心から願う」と述べられた。



(2) 首脳級会合

首脳級会合において採択された「熊本宣言」は、参加国の様々な意見を踏まえ、コロナからの回復において、水の持続性についての取組みを強化すること、強靱性、持続可能性、包摂性を兼ね備えた質の高い社会への変革のために、ガバナンス、ファイナンス、科学技術の3つの観点から簡潔かつ包括的にまとめられ、各国首脳級から参加者に議論を促し、実質的な行動を求めた新しい形の宣言となった。

このような宣言が採択されたことは大変意義深く、また、一方で、開催地としての実践に向けた責任の重い国際会議となった。

また、首脳級会合で岸田首相は、アジア太平洋地域における水を巡る社会課題に対し、官民共同により持続可能な発展と強靱な社会経済の形成につなげていく「新しい資本主義」に基づき、質の高いインフラ整備等に、今後5年間で約5,000億円の支援を実施する『熊本水イニシアティブ』を発表した。



(3)特別セッション（ショーケース）

各国の優れた取組を紹介する「特別セッション」では、日本を代表して大西市長が登壇し、豊かな地下水を大切に守り、後世に継承するための熊本地域の地下水保全の取組や、気候変動などにより激甚化する洪水災害に備える「流域治水」の取組などを発表した。

発表を聞いた他の登壇者からは「水保全と防災が連携するという新たな試みに驚いた」「科学技術の高度な知見が地下水管理に役立てられており、先進事例を学ばせていただいた」といったコメントが寄せられた。



(4)次世代の参画

今回のサミットでは「ユース水フォーラム・九州」の高校生達が活躍した。開会式では、熊本北高校の生徒2人がサミット開始を英語で宣言。水問題解決に向けた動画を作成した3組は、天皇皇后両陛下とオンラインで懇談を行った。

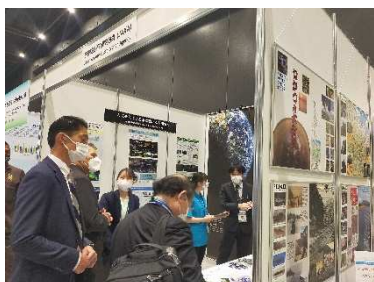


3. サイドイベント

(1) 現地展示会

出展 25 団体

・インフラシステム/テクノロジー、世界/宇宙から見た水問題などの5つのエリアに25団体が出展。国内外からお越しのお客様と出展者、出展者同士の交流の輪が広がり、今後の水保全活動などに繋がるものと期待。



インド代表団が見学する様子



ツバル首相が見学する様子



テレビ局のインタビューに答える子どもたち

〔出展団体〕

分類	団体名
国関係	国土交通省 九州地方整備局 国土交通省/独立行政法人水資源機構 次世代のためにがんばる会&国土交通省 八代河川国道事務所 国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所 SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
市民団体	白川中流域土地改良区協議会/豊かな地下水を育むネットワーク NPO 法人くまもと未来ネット/有機無農薬の百草園 水と緑ワーキンググループ NPO 法人ディスカバリーくまもと
協賛企業関係	大成建設株式会社 スマートエナジー熊本株式会社 株式会社テクアノーツ（飛島建設グループ）
ユース関係・教育機関	ユース水フォーラムくまもと ユース水フォーラム・九州 国立大学法人熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
自治体	八坂かっぱクラブ（大分県） 滋賀県
その他企業・団体等	台北駐日経済文化代表処・台湾屏東県政府 一般社団法人 全国さく井協会 九州支部 阿蘇ユネスコ世界ジオパーク コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ミツカン水の文化センター アズマソーラー株式会社 公益財団法人熊本市上下水道サービス公社

(2)シンポジウム

6 団体

- ・熊本県、熊本市、（公財）くまもと地下水財団、（公財）肥後の水とみどりの愛護基金が連携し、地域一体となった地下水保全の取組を紹介した。
- ・また、海と日本プロジェクト in くまもとのシンポジウムでは、小学生による海洋ごみゼロの取組や学習の成果が世界に向けて発表された。
- ・そのほか、宇宙航空研究開発機構（JAXA）や林野庁、九州水フォーラム、国土交通省九州地方整備局によるシンポジウムが開催された。



熊本の地下水保全の発表の様子



小学生による海洋ごみゼロの発表

〔4月23日（土）〕

主催者名	シンポジウムのテーマ・概要
海と日本プロジェクト in くまもと	熊本の小学生から世界に発信！ ～海洋ごみをゼロにするために～
九州水フォーラム	アジア・太平洋のなかでの九州 —水でつながる人たちが語り合う水との 持続可能な暮らし
宇宙航空研究開発機構（JAXA）	宇宙技術による水問題対策への貢献

〔4月24日（日）〕

主催者名	シンポジウムのテーマ・概要
国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所	あなたにもできる流域治水フォーラム in くまもと ～激甚化する水災害に備えた「まちづくり・ひとづくり」～
「水の国くまもと」シンポジウム実行委員会（熊本県・熊本市、（公財）くまもと地下水財団、（公財）肥後の水とみどりの愛護基金）	『水の国くまもと』シンポジウム～熊本地域における地下水保全の取組み～
林野庁	水インフラに寄与する森林の役割について

4. 広報実績

- ・ 県内最大シェアを持つ熊本日日新聞を活用し、全3回（3/30、4/16、4/22）に分け、水サミット開催PRを実施。
- ・ また情報紙2紙にも掲載（すばいす：4/1、4/15 リビング新聞：4/2）

熊本で水の未来をつなぐ。

第4回 アジア・太平洋水サミット
4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto, Japan 2022

2022.
4/23 sat・24 sun
熊本城ホール
テーマ 持続可能な発展のための水～実践と未来～
会場 アジア・太平洋水サミット実行委員会事務局（〒960-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）

私たちは、第4回アジア・太平洋水サミット開催を応援します。

肥後銀行 | リサーチ・ホームグループ | HI-COM WATER | Hirata
九国アジアグループ | kmb | 桜十字 | JFE エンビエロップ株式会社

熊本日日新聞 3月30日掲載

第4回 アジア・太平洋水サミット
2022.
4/23 sat・24 sun
熊本城ホール
テーマ 持続可能な発展のための水～実践と未来～
会場 アジア・太平洋水サミット実行委員会事務局（〒960-0801 熊本県熊本市中央区下町1-1-1）

熊本で、水の未来をつなぐ。

アジア太平洋地域のリーダーが熊本に集結

私たちは、第4回アジア・太平洋水サミット開催を応援します。

肥後銀行 | リサーチ・ホームグループ | HI-COM WATER | Hirata
九国アジアグループ | kmb | 桜十字 | JFE エンビエロップ株式会社

熊本日日新聞 4月22日掲載

・開催直前の4月18日、21日に、民放各局情報番組に市長が出演し、水サミットの開催意義や感染防止対策などを広報。また、4月11日から、民放4社にてテレビCMの放映を実施（約160本×15秒各社均等）

〔テレビ番組スケジュール〕

4月18日（月）

18:15～ R K K ゲツキン！（リモート生出演）

4月21日（木）

9:50～ T K U かたらんね（VTR出演）

17:30～ K K T てれビタ（リモート生出演）

18:15～ K A B くまパワ！（リモート生出演）

5. エクスカーション

・22日に日中2コース、22日～24日の夜間に熊本城ナイトツアーを開催。

熊本の水循環ツアー：令和4年（2022年）4月22日12:30～18:30

ルート：桜町バスターミナル→池の川水源→明神池名水公園→立野峡谷ヨミュール→水前寺成趣園→健軍水源池→桜町バスターミナル

熊本伝統文化体験ツアー：令和4年（2022年）4月22日13:00～17:00

ルート：桜町バスターミナル→平田機工→熊本県伝統工芸会館→桜町バスターミナル

熊本城ナイトツアー：令和4年（2022年）4月22日～24日 18:30～、19:00～

ルート：城彩苑→熊本城南門→熊本城天守閣→城彩苑



熊本の水循環ツアー



熊本伝統文化体験ツアー



熊本城ナイトツアー

6. 宿泊・輸送について

- ・首脳級、閣僚級のホテルとして熊本市内の5ホテル181室を使用。
- ・11か国の首脳級及び閣僚級（随行者含）の輸送車両として、セダン13台、ミニバン26台、大型バス2台を使用。

7. おもてなし

- ・水サミットに参加する海外の首脳・閣僚級などに対し、歓迎の意を表す記念品を贈呈。また、ホテルに熊本市の水や菓子、フルーツなどを準備。



記念品実物写真



首脳級宿泊部屋のおもてなし

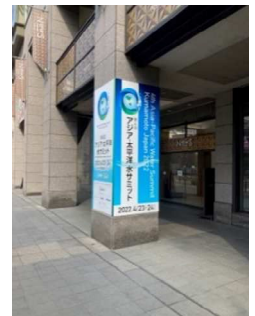
- ・熊本にお越しいただく皆様をお迎えするにあたり、中心市街地、熊本空港や熊本駅、サミット会場周辺などに歓迎看板などの装飾を実施。



下通アーケード



COCOSA ビジョン



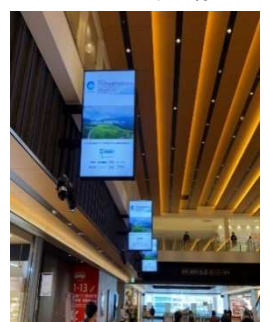
ビブレス広場



熊本駅新幹線口



熊本空港出入口



サクラマチサイネージ

8.市主催夕食会

・来熊いただいた海外首脳をお招きし、市主催の歓迎夕食会を開催。地元産品、熊本城を背景とした熊本ならではのメニューでおもてなし。



市主催夕食会参加者



ツバル首相による答礼挨拶

9.新型コロナウイルス感染症対策について

(1)海外首脳級、閣僚級に対する防疫措置

・入国の 72 時間前に新型コロナウイルス感染症の検査を行い、その陰性証明を提出していただいた。また、空港での入国時の検査のほか、政府の方針に沿って検査や健康観察が必要な国からの参加者、及びその接触者については、熊本滞在中にも PCR 検査や健康観察を実施。入国後に陽性及び体調不良となった方はなし。

・陽性者が発生した場合を想定し、熊本市民病院、国立病院等の市内の複数の病院との連携体制を構築。

(2)会場内での感染対策

・サミットにおいては、すべての参加者について、国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」をはじめとする各種ガイドラインを踏まえ策定した、サミット独自の「感染対策ガイドライン」に基づき、徹底した感染防止対策を講じた。

例) 会場内でのマスク着用、入場時の検温、アルコール消毒の設置、アクリルパーテーションによる飛沫防止対策、一般用及びコロナ疑い者用救護室の設置等



受付での感染対策



シンポジウム会場での感染対策